

# マスターシリンダーコンバートキット取り扱い説明書

Parts No.75-504 対応車種 1979 年式 Z1000MK2 (A3)

この度は、マスターシリンダーコンバートキットのお買い上げ、誠に有難うございます。

**注意；**本製品を取り付けし、ご使用になる前に本取り扱い説明書を、必ずお読み下さい。

**注意；**取り付け作業を行う前に製品に同封されているコーションラベルを、必ずお読み下さい。

**注意；**各部品の締め付けトルクなどは、装着する車輛のメーカーが発行するサービスマニュアルをご参照下さい。

## 1；付属品の確認 写真左上順

- ① アルミクラッシュワッシャー× 4 個
- ② ブレーキフィッティングアダプター× 1 個
- ③ マスターシリンダーASSY× 1 個
- ④ プッシュロッドアダプター× 1 個
- ⑤ スペーサーワッシャー× 2 個
- ⑥ マスターシリンダーマウントステー× 1 個
- ⑦ M6 平ワッシャ× 1 枚
- ⑧ キャップボルト M6 L 20mm× 1 本
- ⑨ ボタンヘッドボルト M8 L 15mm× 2 本
- ⑩ バンジョーボルトロング× 1 本
- ⑪ バンジョーボルトショート× 1 本



## 2；取り付ける前に

2A…既に取り付けられているマスターシリンダーを取り外して下さい。右写真の車輛純正部品は再使用しますので、洗浄して下さい。

写真左上順

- J1 ピンボルト× 1 個
- J2 ブレーキロッドコネクター× 1 個
- J3 ブレーキロッドコネクター用ロックナット× 1 個
- J4 ピンボルト用ロックナット× 1 個
- J5 マスターシリンダーマウントボルト× 2 本



## 3；コンバートキットの仮組み

3A…⑥ステーの裏面に⑤ワッシャーをセットし、⑨ボルトを使用して③マスターを仮止めて下さい。

3B…③マスターのプッシュロッド用ロックナットを調整範囲いっぱいまでねじ込み、④ロッドを取り付けて下さい。

3C…④ロッドの先端にJ3ナットとJ2コネクターを仮止めて下さい。



## 4；車体への取り付け

4A…フレームのマスターシリンダー固定部分に仮組みしたコンバートキットをセットし、J5 ボルトを使用して固定して下さい。

4B…ブレーキホースを仮止めします。⑩ボルトショート、①ワッシャー、ブレーキホースバンジョー、①ワッシャー、②アダプターの順にセットし仮止めして下さい。

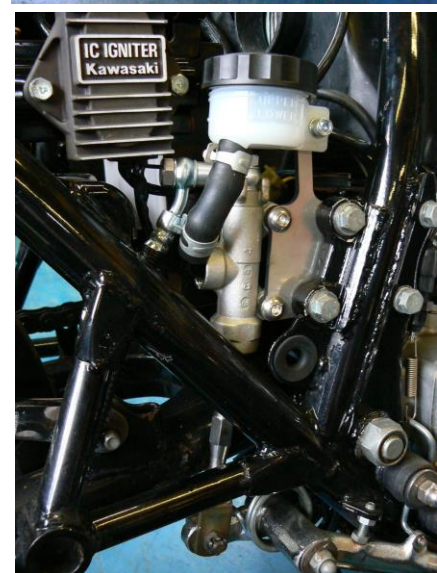
4C…②アダプターをマスターシリンダーへ仮止めします。⑩ボルトロング、①ワッシャー、②アダプター、①ワッシャー、③マスターの順にセットし仮止めして下さい。

4D…各部ボルトを本締めして下さい。締め忘れがない様に確認して下さい。

4E…マスターシリンダーリザーブタンクを固定します。

リザーブタンクのホースを適度な長さにカットしてマスターシリンダーへ取り付けして下さい。⑧ボルト、⑦ワッシャー、リザーブタンク、⑥ステーの順にセットし固定して下さい。

**注意；**ホースが鋭角に折れていると、ブレーキフルードがマスターシリンダーに流れなくなりしますのでご注意ください。



## 5；ブレーキペダルの角度調整方法

5A…フレームのストッパーボルトを調整し、ブレーキペダルの角度を決定します。④ロッドを回し、J2コネクターの穴位置とブレーキペダルのコネクター穴位置を合わせ、J1ボルトとJ4ナットを使用して固定して下さい。プッシュロッドの各部ロックナットを固定して下さい。

5B…マスターシリンダーとブレーキペダルのコネクター部分を車体真後ろから覗き、ブレーキプッシュロッドが斜めになっている場合は、“3A”で組み込んだワッシャー部分に適度な厚みのワッシャーを用意して組み込んで調整して下さい。

## 6；定期点検箇所

以下の作業を必ず行って下さい。

- ①各部のボルト、ナットの緩みなど
- ②定期的なグリス塗布箇所…ブレーキペダルの支点部分、コネクターボルト部分、フレームのマスターシリンダーマウントボルト部分。
- ③各ブレーキホース固定部分のオイル漏れなど

以上で取り付けは終了です。

ご不明な点は、購入店もしくは、(株)ピーエムシーまでお問合せ下さい。